

健康長寿へデータ活用

弘大など 都内でフォーラム

弘前大学と県、弘前市は14日、健康寿命延伸に向けたビッグデータの活用を考えるフォーラムを都内で開き、参加者約700人が健康づくりの取り組みに理解を深めた。

弘前大学は2013年、国の革新的イノベーション創出プログラム「COI STRREAM」に採択され、十数年続く「岩木健康増進プロジェクト」の膨大なデータを解析する

ことで、認知症や生活習慣病の予測・予防法開発などに取り組んでいる。フォーラムでは

弘大の佐藤敬学長が「COI拠点と健康未来イノベーションセンターの整備により、予防医学のイノベーションや新産業の育成に大学一丸となって取り組む」などと述べ、地域はもとより全国の支援を呼び掛けた。

また、弘大COI拠点長の中路重之弘大学院医学研究科教授による基調講演や、東京

大学などが参加する果報告なども行われた。
データ解析の最新の結
た。
(石黒全)



“健康ビッグデータ”の活用法について理解を深めたフォーラム